

今日から始める認知症相談

認知症は誰でもかかる可能性がある身近な病気です。「私には関係のないことだ」と思わず、認知症のチェックをしてみましょう。

認知症のサインかもしれません！

- 物忘れ（置き忘れ、しまい忘れ）が多くなってきた。
- 同じことを何回も聞く、言う。
- 日常生活の中で、不安に思うことや確認することが多くなった。
- 最近、怒りっぽい。ささいなことで怒り出す。
- 意欲がなくなった。自分から何もしない。
- 会話の途中で言いたいことを忘れ、何を言いたいかわからないことが増えた。

◆早期診断・早期治療につなげましょう

早く気付くことで、これからの生活に向けた準備ができ、原因によっては進行を遅らせることができる場合があります。まずは、居住地区を担当する地域包括支援センターまたは、本人の状況をよく知っている身近なかかりつけ医に相談しましょう。

相談窓口

居住地区	担当地域包括支援センター	電話
富士松中学校区	富士松地域包括支援センター	62-3033
雁が音中学校区	雁が音地域包括支援センター	21-3561
小高原・住吉・日高小学校区	中部地域包括支援センター	28-6071
亀城・衣浦小学校区	中央地域包括支援センター	23-0280
依佐美中学校区	依佐美地域包括支援センター	63-5235
朝日中学校区	朝日地域包括支援センター	63-6700



時 11月30日(火)、12月7日(火)
10時～12時

場 市役所101会議室
絆ノート(エンディングノート)とは、誰にでもある心配事、自分に万が一のことがあった時に、残された家族や大切な人が困らないように、葬儀やお墓、相続、各種保険の手続きなどに関する自分の

福祉・介護

絆ノート書き方講座



すくすくパパ広場で遊ぼう

時 11月20日(出) 10時30分～12時、14時～15時30分

※予約制

場 小山託児ルーム
就学前の子と親

対 ◆すくすく・のびのび・きらきら・わくわく広場の休み

時 11月3日(水)・23日(火)

申 問 すくすく広場(☎25・8427)

ID 1005761



考えを書き残しておくノートです。書き進める中で、これまでの人生を振り返り、大切な人や地域とのつながりを見つめ直し、今後自分らしく安心して暮らすことができるよう、絆ノートの書き方を説明します。

対 市内在住の人
榎本さおり氏(第一生命(株)相続コンサルタント)

定 各15人(先着順)

申 11月15日(月)までに、「絆ノート」の書き方講座(希望、講座受講日、氏名(フリガナ)、郵便番号・住所、電話番号)を記入し、ハガキを郵送、**FAX**(24・2466)または直接、長寿課(〒448・8501刈谷市役所)へ。

※受講決定者には後日郵送で連絡をします。

他 参加者には当日、絆ノートを配布します。

問 長寿課(☎62・1063)
1009175



車いす体験塾 まちの思いやりみつけ隊

時 ①12月18日(出) 10時15分～12時30分(雨天時25日(出)、②12月19日(出) 9時15分～11時30分(雨天時26日(出))

場 市民ボランティア活動センター

内 車いすに乗って街を巡り、福祉的な視点や、周りの人などに自然に配慮できる心を養う体験と、ワークショップを開催します。

講 佐藤元紀氏(自立生活センターアークセル代表)

定 各10人

※申込多数の場合は抽選とし、結果は全員に連絡します。

対 市内在学の小学4年生～高校生

申 問 11月30日(火)までに電話(62・6676)、**FAX**(25・2569)、**E-MAIL**(c.kogakai@kaiyashi.jp)または直接、社会福祉協議会事業推進課(〒448・0024 下重原町3・120)へ。